令和３年 特別号

沖縄県議会 沖縄・自民党

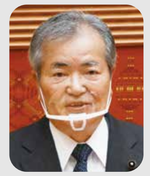
沖縄・自民党会派室
〒900-0021
那覇市泉崎1-2-3 6階
TEL.098-866-2754

1面　沖縄・自民党県議の活躍
2面　2021年度沖縄県予算
3面　新型コロナ禍対策　那覇軍港移設東京要請
4面　沖縄・自民党県議の活躍

島袋　大

今こそ、強い沖縄を創る！

令和2年6月議会がスタートし9月、11月、令和3年2月と一般質問を行いましたが、令和3年1月に発生した新型コロナウイルス感染症対策をどのように国、県、市町村と連携して行くかが大きなポイントであります。離島県であるからこそ医療、教育、福祉、観光関連産業、農水産業などと強固な体制を取って、取り組むことが大事であります。知事に対して要請を行っていますがハッキリとした判断、決断が遅い現状であります。与党、野党、保守、革新、関係なく県民の生命、生活を守る為に議会で議論をしているわけですから、知事に対しては強い言葉でハッキリと言わさせていただきます。復帰して49年、沖縄振興計画を策定する為に、沖縄県の考えを国に要請する為に、沖縄県の考えを要請する。強い沖縄をつくる為に議会や委員会で私は強く提言していく。



末松文信

北部基幹病院の早期整備

県議3期目を迎えた県議会第13期は、文教厚生委員会委員長の任に就かせていただき身の引き締まる思い。初議会に臨み新型コロナウイルス感染拡大防止策と生活様式の変化や働き方改革など、多様なニーズに対する県の考え方を質した。

また、懸案の北部基幹病院の早期整備と基幹病院整備までの北部地域における医療提供体制について、知事の姿勢を質した。これに対し県は北部12市町村等との基本合意書を締結した。今後は基本構想、基本計画、実施設計、工事着手、そして令和8年供用を目指すとの答弁。12月議会は代表質問の機会を得て、沖縄が抱える基地問題と次期沖縄振興計画は、同時に我が国の安全保障との関係で国の最重要課題である。この重要課題を解決するために、菅義偉新総理大臣（政府）とどのように向き合いどう解決を図っていくのか知事の政治姿勢を質した。

座波　一

足腰の強い産業構造に向けて

沖縄振興計画は5期48年間続いたが県経済は未だ自立に程遠く、県民所得も依然最下位である。私は産業構造の4％しかないモノづくりや製造業を増やし、足腰の強いバランスの取れた産業構造へ変革することが自立型経済へつながると考え議会で提言している。現在産業の70％以上を占める観光業やサービス業はパンデミックや政情不安、災害、天候等の影響を受けやすく、安定性の高い製造業の誘致育成をすることで次の沖縄振興計画では製造業の構成比率を10～15％へ目標値を設定するべきと考えています。そのため土地利用計画の規制緩和と物流道路網の整備、特例特区制度の拡充を一体的に取組み、離島や北部、本島東海岸側と南部地域等県土の均衡発展を訴えています。

仲田弘毅

県の現状と将来について

県議会第13期スタート。県議5期目の初定例会（6月）で副議長に選任され、責任の重さを痛感すると同時に、よりスムーズな議会運営を目指しております。各定例会において次のような一般質問を行った。

新型コロナ禍による医療・観光・スポーツ・教育の面で大きな経済的・精神的な負担があり、感染拡大防止・収束に向け、行政・議会が全力で取り組むべきことを訴えた。

「自立型県経済の構築」と「島嶼各地域」の経済・流通・医療が比較的に脆弱であることを踏まえ、10月、会派の先島視察で、要請があった「新過疎法」について現地の生の声を県と国に訴え継続された。

一昨年から取り組んだ豚熱の移動禁止等による養豚業者への差額補償を国が1－2、県が1－2行うとの答弁に安堵している。

花城大輔

次期沖縄振興計画に向けて

現沖縄振興計画の期限切れまで残り1年余となり、次期振計策定への緊張感ある対応が求められている。しかしながら、これまで達成出来なかった課題をこれからの10年で、どう解決に近づけていけるのか？私は、当選当初から提案を続けている『海洋資源開発の拠点設置』こそが次期振計の目玉になると考えている。世界第6位の広大な面積の海を持つ我が国の3分の1を沖縄近海が有している利点を活かし、水産・バイオ・エネルギーのみならず「海洋鉱物」の調査・研究、陸揚げから製品化、流通に至るまで、ここ沖縄の地で総合的な海洋利用、海洋環境保全を両立させた産業の創出を進めていきたい。この大きな可能性を具体化する過程で、沖縄に山積する様々な問題を解決しつつ、新たな夢のある沖縄のあり方を次世代に示して行きたい。

仲田弘毅

県の現状と将来について

県議会第13期スタート。県議5期目の初定例会（6月）で副議長に選任され、責任の重さを痛感すると同時に、よりスムーズな議会運営を目指しております。各定例会において次のような一般質問を行った。

新型コロナ禍による医療・観光・スポーツ・教育の面で大きな経済的・精神的な負担があり、感染拡大防止・収束に向け、行政・議会が全力で取り組むべきことを訴えた。

「自立型県経済の構築」と「島嶼各地域」の経済・流通・医療が比較的に脆弱であることを踏まえ、10月、会派の先島視察で、要請があった「新過疎法」について現地の生の声を県と国に訴え継続された。

一昨年から取り組んだ豚熱の移動禁止等による養豚業者への差額補償を国が1－2、県が1－2行うとの答弁に安堵している。

照屋守之

那覇軍港の移設先の北側案について沖縄県・那覇市・浦添市が合意しており実現の大きなチャンスである。

沖縄・自民党は、軍港を返還し跡地を夢が広がる整備へ。又、浦添市はキャンプキンザー跡地と一体化し、自然や環境に配慮した開発を進め、県民や市民の期待に応えていきたいと考えている

河野大臣・岸防衛大臣等へ県議会代表団で要請！

那覇軍港の返還　港湾整備の県議会議決・東京要請

那覇軍港の返還は、日米合意から46年が経過。多くの県民が期待する軍港返還を実現したい！－

これまで、本会議で質問等を通して、基地の整理縮小を訴えてきたが

中川京貴

玉城知事の政治姿勢について追及と提言！

【2月・12月定例会】辺野古埋立承認撤回訴訟の判決が敗訴となった。知事は本会議において最高裁判決を尊重して真摯に順法の精神を守って行きたいと答弁しながらあらゆる手法で反対し法律を守っていない。東部海浜開発事業、那覇第二滑走路埋立、那覇軍港浦添移設と普天間基地辺野古代替移設の埋立は一緒であると土木部長は答弁している。しかしながら知事は普天間基地移設だけを反対している。それは法律を無視したイデオロギーでしかない。その整合性を厳しく追及する。

大型MICE建設については財源を国と交渉して決めないまま発注し財源の確保ができず受注企業体に約9千万円損害賠償する事になった。この事は県政の失態であり責任は大きい。住民訴訟になってもおかしくない。今後、MICE建設実現に向けての対策について追及した。

又吉清義

コロナ禍による経済支援策やワクチン接種と進展のない訴訟と裁判

去年始めに爆発的に世界中に蔓延した新型コロナの影響により、今まで当たり前であった日常生活、経済、社会の構造等が大変革に直面し始めている。

この状況に新しい生活様式として対応をしておりますが、この大局面をどの様に乗り越え克服していくか、県の取り組みや支援策の動き方について問うと同時に、これから始まるワクチン接種の進め方、副反応等の対策姿勢を問う。

又、日々悪化する尖閣問題で漁業を営む方々の安全確保や中国への抗議についての知事の姿勢、最後に基地の整理縮小と普天間飛行場の一日も早い危険性除去の名目の下、知事はこれまでに1億8000万円以上の裁判費用を費やしながら何の解決、進展にも繋がらない予算の無駄を指摘した。

呉屋　宏

宜野湾市の渋滞解消と過疎対策に取り組む

昨年、6月に久しぶりに県議会に返り咲きました。私が今期4年間の活動の中心は地元宜野湾市の道路問題を中心に活動することと社会の弱者対策、つまりは離島・過疎地域に手を差し伸べることなどを中心に進めていきたいと思っています。

まず、前議会（令和2年12月）で宜野湾市の歪になっているバイプライン道路（喜友名－真志喜）をしっかり整備していく事が大切であり宜野湾市の渋滞解消と子供たちの通学の安全性を確保し、大山地区の飛行場からの雨水排水の処理も含めて整備していく質問をしました。その結果、県の答弁は令和3年度に調査費を計上することになりました。

もう一つの成果は、これまでなかった防災ヘリのことです。全国で配備されていないのは沖縄県だけであり、これも早急に整備することになりました。

西銘　啓史郎

執行部への追及と提言をこれからも継続！

【6月定例会】新型コロナウイルス感染症に関し、対策本部会議専門家会議の開催実績について議事録等確認。又、万国津梁会議の契約・支払い等について疑義を呈した。

【9月定例議会】政策参与の任用について決裁権限や手続きについて追及。又、新型コロナ対策について、命と生活（経済）を守る為、県の対応を追求し、経済対策強化を提言。

【11月定例会】玉城知事が体調不良で欠席する中での一般質問であった。特に知事の政治姿勢については、本人の考え方を追求したかったが、代理答弁の為、議論を深められなかった。また、水上安全条例について、マリンスポーツの安全・安心の向上の為の条例改訂を提言し、2月議会にて提案予定との事。これからも、野党の一員として執行部への追及と提言を継続して行いたい。

新垣　新

令和2年6月一般質問

質問　認可外保育園の経営状況を理解しているかについて

子ども生活福祉部長答弁　認可外保育施設は、待機児童多い本県において、認可保育所に入れない待機児童の受け皿となって保育を提供していただいていると認識しております。

質問　認可外保育施設には、クーラーがほとんど設置されていない。この件で現場をどう受け止めて、いますか？

謝花副知事答弁　認可と認可外との格差是正の課題として、取り組む必要があります。

質問　認可外保育施設の支援について、認可外に準認可のような運営補助金を補助し、県3分の1、市町村3分の1、認可外保育所施設の経営から、3分の1で、県も市町村も努力をし、これで最終的な待機児童ゼロという形で県民に成果を見せて、頑張って頂きたいのですが、見解を求めてます。

知事答弁　議員提案のご意見なども含めながら、様々な提案を保育行政に生かせるよう頑張って行きます。

認可外保育施設の経営は、保護者からの保育料により運営されているということで厳しい経営状況にあると認識しております。

認可保育所にはクーラーが設置されている。認可外保育施設には、クーラーが設置されていない。この件で現場をどう受け止めて、いますか？

大浜一郎

中国海警法は国際法違反！離島医療の充実対策を問う！

【9月議会】令和3年度沖縄振興予算及び税制改正要望、新過疎法への県の対応、尖閣問題、県内景気動向及び雇用、所得向上対策、八重山地域の遠隔教育の在り方、建設・整備に携わる人材育成、海浜漂着物の処理、赤土流出対策等を質問した。

【11月議会】中国王毅外相の暴言、次期沖振計における離島振興、離島医療コロナ対策、地域未来投資促進法活用におけるゴルフ場含むリゾート建設、西表島世界自然遺産、種豚母豚の県外からの輸送費、鳥獣被害対策、児童生徒紫外線被ばく眼疾患予防対策を質問した。

【2月議会】国連海洋法に違反した中国海警法が2月10日に施行された。極めて身勝手な法律が尖閣海域で施行されるのに、知事の反応は極めて弱い態度であり許されない。離島医療崩壊は、地域社会に重大な影響を与える事から具体的な取り組みを問っていく

下地康教

離島・過疎地域の振興について

昨年六月より、議会活動を始めさせて頂いております。これまで三回の定例議会では、「離島振興」、「離島での「新型コロナウイルス感染症対策」を中心に質問しその課題解決に取組んでまいました。離島振興では、一括交付金による農林水産物不利性解消事業でのカツオ、枝豆、紅芋ペースト等の品目追加を要求して来ました。加えて、新たな沖縄振興法の「農林水産物流通不利性解消」に関する明確な法制化を要求しています。また、下地島空港の利活用促進、多良間村の国営かんがい排水事業等を要求して行きます。新型コロナウイルス感染対策では、宮古地区を含む離島空港でのサーモグラフィー発熱探知による$PaCO_2$システムの導入を要求し、実現しています。これからも、地域に根ざした離島振興に邁進して参ります。

仲村家治

沖縄にハワイ型ライフガード導入を提案する

6月議会

一、新型コロナ感染による影響と対策。

離島における対策等について

二、マリンレジャー等の安全安心について。沖縄県ライフセービング協会の活動と沖縄にハワイ型ライフガード導入を提案する

三、普天間飛行場の危険除去は県民総意。自民党県連青年局の防衛省への要請について

9月議会　私の質問に玉城知事は、明確に那覇軍港の浦添移設を容認すると答弁しました。

12月議会　沖縄県水上安全条例の改正作業の進捗について。那覇軍港移設作業の確認と先行返還について

安心安全な暮らしの確保と、子育て支援、教育環境の充実に力を注ぐ！

令和2年議会はすべてのことが初体験であり日々緊張の連続。地元八重瀬町の懸案事項であります二級河川報徳川の河川整備、国道507号線の拡幅工事について質した。県の答弁は「世名城橋付近の用地買収を推進、必要に応じて浚渫を行いながら早期整備に取り組む。」「令和元年度の事業費ベースで約48パーセント。東風平交差点付近の年度内用地取得完了見込み、用地取得後工事着手する。」との答弁。前向きな答弁ではありますが、確実に事業目標が達成され、地域の安心安全な暮らしが取り戻すことができるよう注視していきます。子育て支援、教育環境の充実についても保護者や子供達、支援する方々のそれぞれの立場に立った課題解決に取り組みます。

石原朝子

仲里全孝

コロナの感染拡大防止と経済対策を最優先に！

昨年6月以降の県議会にて、コロナ感染防止対策や雇用失業問題、また、沖縄振興策の推進、農林水産業の振興、子育て支援、観光資源維持管理、道路整備、基地問題、などについて質問いたしました。沖縄が抱える諸課題は、コロナのパンデミックによりさらに深刻なものとなっています。コロナがまだ収束の兆しをみせないなか、感染拡大防止や経済対策など、まずは、コロナ対策を最優先事項として、取り組んでいかなければならないと強く感じています。当たり前が当然事ではなくなったこの状況下で、生活に不安を抱える方々も多くいらっしゃると思います。引き続き県民の皆さまの声を議会へ強く届けていきたいと考えています。

島尻忠明

生活のための政治実現に向けて

令和2年第4回沖縄県議会5月定例会にて県議会議員として初の一般質問、9月定例会では会派・沖縄・自民党を代表して代表質問、11月定例会には一般質問を行いました。

米軍那覇軍港施設「那覇軍港」の浦添移設・浦添埠頭地区・西海岸開発について浦添市は、西海岸開発とキャンプ・キンザー跡地について、県土の再編も含め一体的開発による市益の最大化を図るべきと考え方に立った計画推進の考えで進めるべきとの認識を伺いました。代表質問では、新型コロナウイルスの影響を受け、深刻な状況に陥っている観光振興について本県は観光が産業の柱であり観光産業への支援策についての取り組みも求めました。

収束の見えないコロナ禍の中ではありますが多くの皆様の想いを胸に、沖縄県発展に取組みます。

新垣淑豊

地域から県全体まで多くの課題が山積！

令和2年6月議会以降、9月、11月、令和3年2月と4回の議会定例会において質問台に立ちました。新型コロナウイルス感染拡大による課題をはじめ「来年度に期限が訪れる沖縄振興特別措置法による沖縄振興の今後の形はどうなるか」、那覇軍港の移設について県としてどう考えているか「大型集会場（MICE）施設はどうなるのか」「小規模の有人離島を多く抱える沖縄として過疎地火災で罹災したイベント事業者への影響や、座間味島の浄水場問題、夜間中学校の設置、20年経っても完成しない県道29号（龍潭）線など地域や県民からの声、さらに新型コロナウイルス対応医療従事者の切実な状況について議会質問を通してお伝えさせていただきました。

小渡良太郎

初議会より半年間の議会活動総まとめ

本会議では、尖閣諸島における県警の活動の確認、地元・泡瀬への鳥獣保護区指定の是非（その後白紙撤回）、人手不足にも関わらず県外就職を推進する県の雇用政策の県内推進転換への提案等を行う。

文教厚生委員会では、新型コロナ感染拡大防止対策全般、保育の地域格差是正に向けた提言、高校における県外求人の割合と若年者離職率の高さとの相関性に関する指摘、第32軍司令部壕の保全やヘイトスピーチその他多くの事柄について議論。

米軍特別委員会では、種々の事件事故の詳細確認と意見書・決議の採択を行う。

問題山積ながら多くの可能性を秘める沖縄県、ちゃんと可能性を引き出せる政治を目指して頑張ります。